

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

● HPV-DNA ジェノタイプ（ハイリスク13種）

項目コード：7581

受託開始日

平成26年1月4日（土）受付分より新規受託開始

※ 受託要項等の詳細は、裏面をご参照ください。

保健科学グループ



株式会社 **保健科学研究所**

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター
保健科学東日本
日本ノーバメディカル研究所
いかがく
組織科学研究所
ケーアイエー細胞病理研究所
カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所
日本厚生団衛生科学研究所
湘南医化学検査センター
小田原衛検
相模医研
東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値(単位)	所要日数	実施料判断料	備考
7581	HPV-DNA ジェノタイプ(ハイリスク13種)	子宮頸部擦過細胞	W4 冷蔵	PCR-rSSO法	(-)	4 5 11	2000 微生物	※1、2

検査場所: 保健科学研究所 第3ラボラトリー(*イ)

※1 検出可能なHPV型は、16、18、31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、68型です。
上記の型が検出された場合、型の報告と共に判定(+)を報告します。また、検出されなかった場合には、判定(-)のみ報告いたします。

※2 コンタミネーションの影響がより大きい為、検体採取には取り扱いにご注意下さい。また、他項目との重複依頼は避けてください。

▼ 診療報酬算定条件

- ア. あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1又はCIN2と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的として、ハイリスク型HPVのそれぞれの有無を確認した場合に算定する。
- イ. HPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。
- ウ. あらかじめ行われた組織診断の結果及び組織診断の実施日、及び当該検査によって選択した治療法を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- エ. 同一の患者について、当該検査を2回目以降行う場合は、当該検査の前回実施日、及び前回選択した治療(その後通常の検診となった場合はその旨)を上記に併せて記載する。

▼ 新容器の取り扱い方法

■ 採取方法

W4 液状検体細胞診[LBC] シンプレップ



添加剤・内容物	メタノール 55%含有
採取量・容量	
貯蔵方法	常温
有効期限	1年6ヶ月
検査項目	HPV-DNA ジェノタイプ(ハイリスク13種)
備考	ブラシの先端は容器に残さないで下さい。



- ① 綿棒以外の採取器具(ブラシ、など)を用いて検体を採取します。
- ② ブラシを容器に入れ、容器の底で毛先が広がるように10回程度押し付けます。さらに、強くかき回して、採取した細胞を洗い落とします。
- ③ ブラシを取り出して廃棄し、しっかり蓋をして検体を冷蔵保存にて提出して下さい。

(注)ブラシの先端は容器に残さないで下さい。

(注意)

妊婦より検体を採取する場合は安全性を考慮してブラシ等の採取器具の使用は避け、安全性の高い綿棒を使用して下さい。但し、綿棒では適切な細胞量が採取できないこともあるため取り直しが必要になることもあります。綿棒では無理な力がかかりやすく折れる可能性がありますので十分にご注意下さい。

▼ 参考文献

尾崎 聡, 他 : 臨床病理60(7) : 621~626, 2012.